

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ぐらん				公表日	R8年 2月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・活動時に利用する道具は、きちんと整理して、使う度に用意をして使うことでスペースの確保ができています。 ・課題スペースは、区切りマークを点けスペースを確保している。	・常に意識して整理整頓を心がけています。 ・広さは十分だが、忘れ物や間違えて持って帰ることも多かったので、検討が必要。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・適切である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	6		・現時点では必要な利用児がいないが、今後必要であれば対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・日々掃除、食事（おやつ）の際は消毒して台ふきを行うことを徹底している。 ・部屋の換気を今以上に設ける必要がある。	・日々受け入れ前には必ず換気を行うように徹底します。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個々に応じて別室に移動して行うこともある。 ・なっている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎日ミーティングを行っている。 ・全員で意見交換をし、より良い療育を目指している。	・何度も話し合いを重ね、改善策を更新しています。共通理解をしながら支援を行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・実施して終わりではなく、評価を基に話し合い業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・日々打ち合わせ等を設け内容を共有している。	・意見が出しやすい環境作りを今後も作っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・職員の研修した内容を説明・文章などで報告を受けている。	・今後はこれまで研修等に受講していなかった職員も参加していくよう考えています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ホームページで公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・アセスメントシートや聞き取りから作成した原案を基に話し合いを行っている。その際に変更点等の意見を出し合い計画に繋げている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・個別支援計画に係るモニタリング意見交換をしている。 ・全員で最善策を検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・個々の連絡帳用バインダーに計画を貼りつけ、日々確認できるようにしている。計画を意識しながら支援ができていると思う。	・短時間の関わりの中、どの職員もいつでも計画を確認でき、支援に反映できるよう工夫しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・家庭、家族等の様子を毎日の記録票で確認している。 ・WISCなどの結果は保護者の任意で共有させていただいている。 ・行動観察等は連絡帳や面談で共通理解している。	・なるべく詳しく日々の様子を連絡帳にて伝えるようにしています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・月毎に利用予定表を作成する上で職員間で話し合いを実施している。 ・活動後は評価し合い、次回に繋げている。	・幅広い年齢層に新しい活動を日々考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・日々頭を悩ませているが、年齢に見合った活動を心がけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・年齢に合わせてやり方を工夫している。 ・誰でも楽しめる内容を計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・送迎までの時間でミーティングを実施し、職員間で役割等確認している。	・送迎の時間帯によっては全員でのミーティングの時間が取れないこともあります。その際は個別に伝えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・必要内容は適宜報告している。	・終了後に打ち合わせを行ってはいるが、終了後に発覚する事案もあり、職員間でのリアルタイムの報連相も今後の課題です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・日報に活動内容、連絡帳に子どもの様子を記載し、会議で前日の内容の読み合わせを行うようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・個々のモニタリングを定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	・様々な活動を組み合わせながら支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・様々な活動の中で選択の場面を設け、個々に達成感が得られるように支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・FAX、電話、アプリ等で年間、月毎の日程や変更等の連絡調整を行っている。 ・ファイルに綴り管理している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・ケア会議で共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・卒業した子に係る事業所に情報交換を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	・研修を受ける機会の提供はしていない。	・今後必要であれば提供していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	・イベントを計画し交流の場を提供している。 ・交流できる場をもっと作って参加型にしてほしい。 ・求めている保護者の方も多いのが現状。	・平日は難しいが、学校休業日等を利用してイベントを計画していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・毎日子供の生活内容を記録票で共有している。 ・活動内容、状況などをなるべく詳しく分かりやすく記録して伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明を行っている。	・契約時以外でもいつでも質問等受け付けています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・電話、面談、書面等で意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・分かりやすく説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・連絡帳を通じて対応したり、助言などは直接行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・懇親会や参観日等、計画している。その際に情報交換したり交流を深めている。	・参観日や懇親会等で交流の機会を準備しています。それ以外でもお子様の日々の様子を見学に来られたり、ご兄弟様を連れて来られるご家族様もおられます。いつでもお越し下さい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・何かあれば対応策を整備し、お知らせしている。その際は連絡帳や送迎時にも伝え、細かくフォローしている。 ・苦情窓口を設置し、いつでも連絡が取れる体制を整えている。	・BOXは、誰でも入れていいと子どもたちにも周知しています。些細なことでも早期解決に向け尽力していきたいと思っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ホームページで活動内容、様子等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・ホームページや、掲示用の写真等は保護者の希望に沿いながら、個人情報には十分に注意を払っている。	
非常時等の対応	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・連絡帳を通して情報伝達を行っている。 ・子どもとの意思の疎通は、保護者と本人を交え、より良い伝達方法を模索している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・表立って招待は行っていないが、誰でも参加できるようなイベントは定期的に行っている。	・保護者からのご要望があれば行います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・定期的に訓練を行っている。 ・内部研修、訓練等実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPの読み合わせや訓練を行い、同日若しくは近日内に子どもの訓練も実施するようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・子どもの必要な情報は、必ず受け入れ前に職員全員で情報共有を行う。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・各役割を確認し、チェック表を活用しながら安全管理に務めている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全計画は目につく場所に掲示しており、保護者に伝え周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・記録に起こし、会議で改善策を話し合っている。 ・発生時に記録を残している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・勉強会を実施したり研修への参加をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・契約時、または更新時に説明を行っている。 ・三要素に沿って内容を作り、保護者、本人に十分な説明を記載している。	・対象児童がいれば保護者に承諾を得た上できちんとした手順で行います。